

## 情報リテラシーに関する VALUE ルーブリック

詳細は [value@aacu.org](mailto:value@aacu.org) を参照



VALUE ルーブリックは、全米の大学を代表する専門教職員が、学習の成果に関する各大学のルーブリックや関連文書を調査し、教職員からのフィードバックを参考にして作成されたものである。このルーブリックは、段階的達成レベルを示す能力指標により、各学習成果の原則的な基準を示すものである。このルーブリックは、各大学が学生の学習を評価し考察する目的で使用するものであり、成績をつけるためにしようするものではない。この15のVALUEルーブリックに示された、学生に期待される能力に関しては、各大学、専門分野、コースに応じて、それぞれの解釈が可能である。VALUEルーブリックは、学生の成果に関し共通の手段と理解を共有することで、全ての学部レベルの機関での学生の学習を、一つの基本的な期待レベルの枠組みの中で位置づけるためのものである。

### 定義

情報が必要な時期を認識し、検討中の問題のため、その情報を特定、発見、評価し、効果的に責任を持って使用、共有する能力——情報リテラシー——全米フォーラムの記述を採用

### 概要

本ルーブリックは、学生の情報スキルを十分に測定するため、単独の成果事例より、成果集を評価するために使用されることが推奨される。理想的には、成果集は以下の多岐にわたる様々な種類の成果を含む：研究論文、論説、談話、補助金提案書、マーケティングあるいは事業計画、パワーポイント・プレゼンテーション、ポスター、文献レビュー、ポジション・ペーパー、議論批評。さらに、作業の背景を完全に伝えるにあたっては、学生に作業を開始させた指示を含む課題の説明が不可欠である。学生の最終成果物は独立したものでなくてもはならないが、研究日誌・日記のような学生の研究・情報収集のプロセスの証拠は、学生の情報能力のさらなる証明となり、中には本ルーブリックの基準が必要となるものもある。

# 情報リテラシーに関する VALUE ルーブリック

詳細は [value@aacu.org](mailto:value@aacu.org) を参照



## 定義

情報が必要な時期を認識し、検討中の問題のため、その情報を特定、発見、評価し、効果的に責任を持って使用、共有する能力——情報リテラシー——全米フォーラムの記述を採用

単独の課題、または複数の課題を統合して、ベンチマーク（基準1）に達しない場合は0点と採点することを推奨する。

	最終基準	中間基準		ベンチマーク
	4	3	2	1
必要な情報の範囲を決定する	リサーチ・クエスチョンや論文の範囲を効果的に定められる。キー概念を効果的に決定できる。選択された情報（源）の種類は直接、概念に関係し、リサーチ・クエスチョンの答えとなる。	リサーチ・クエスチョンや論文の範囲を完全に定められる。キー概念を決定できる。選択された情報（源）の種類は概念に関係し、リサーチ・クエスチョンの答えとなる。	リサーチ・クエスチョンや論文の範囲を不十分ではあるが定められる（欠けている部分があるか、範囲が広すぎる、狭すぎる等）。キー概念を決定できる。選択された情報（源）の種類は部分的に概念に関係し、リサーチ・クエスチョンの答えとなる。	リサーチ・クエスチョンや論文の範囲を定めるのに困難を感じる。キー概念を決めるのに困難を感じる。選択された情報（源）の種類は概念に関係しないか、リサーチ・クエスチョンの答えとならない。
必要な情報にアクセスする	効果的でうまく計画された検索方法と最適な情報源を用い情報にアクセスする。	様々な検索方法と適切な情報源を用い情報にアクセスする。検索を正確にする能力を示す。	簡単な検索方法を用い情報にアクセスし、限られた似通った情報源から情報を入手する。	無作為に情報にアクセスし、関連性がなく、質の低い情報を入手する。
情報と情報源を批判的に評価する	徹底的に（体系的、組織的に）自分と他人の仮定を特定し、立場を提示する際、関係性の適切さを入念に評価する。	自分と他人の仮定を特定し、立場を提示する際、適切な関係性を特定する。	仮定に疑問を持つ。立場を提示する際、適切な関係性を特定し始める。自分の仮定より他人の仮定をより意識する（またはその逆）。	現在の仮定について意識し始める（時として断言を仮定と分類する）。立場を提示する際、関係性を特定し始める。
具体的な目標を達成するために情報を効果的に使う	情報源からの情報を伝え、整理し、統合し、具体的な目標は明確に、深く、十分に達成される。	情報源からの情報を伝え、整理し、統合する。意図した目的が達成される。	情報源からの情報を伝え、整理する。情報は統合されていないため、意図した目的は充分には達成されない。	情報源からの情報を伝える。情報は断片的で、不適切に（間違った引用、文脈から外れた引用、または不正確な言い換え）使用されるため、意図した目的が達成されない。

## 情報リテラシーに関する VALUE ルーブリック

詳細は [value@aacu.org](mailto:value@aacu.org) を参照



<p>倫理的、法的に情報にアクセスし使用する</p>	<p>学生は以下の情報利用方法の全てを正確に使用し、（出典と参考文献の明示、言い換え・要約・引用の選択、原典の文脈に忠実な情報の使用、常識と出所明示が必要な考えとの区別）、公表・内密・機密情報の使用に関する倫理的、法的制限への十分な理解を示す。</p>	<p>学生は以下の情報利用方法の内いずれか三つを正確に使用し、（出典と参考文献の明示、言い換え・要約・引用の選択、原典の文脈に忠実な情報の使用、常識と出所明示が必要な考えとの区別）、公表・内密・機密情報の使用に関する倫理的、法的制限への十分な理解を示す。</p>	<p>学生は以下の情報利用方法の内いずれか二つを正確に使用し、（出典と参考文献の明示、言い換え・要約・引用の選択、原典の文脈に忠実な情報の使用、常識と出所明示が必要な考えとの区別）、公表・内密・機密情報の使用に関する倫理的、法的制限への十分な理解を示す。</p>	<p>学生は以下の情報利用方法の内いずれか一つを正確に使用し、（出典と参考文献の明示、言い換え・要約・引用の選択、原典の文脈に忠実な情報の使用、常識と出所明示が必要な考えとの区別）、公表・内密・機密情報の使用に関する倫理的、法的制限への十分な理解を示す。</p>
----------------------------	--	---	---	---